

事務事業名		上下水道料金賦課徴収事務			会計	水道事業			
H27担当課等名		経営管理課		H27係等名	料金係		H26係等名	料金係	
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり					
		施策	45	居住基盤の向上					
目的	対象(誰・何を)	上下水道の利用者			対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	上下水道料金の適正な賦課と確実な徴収を図る。				利用者数		45041	
	向上させたい上位施策の成果指標	水道普及率(%)							
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	徴収率			98.43	98.6	98.43	98.43	
	成果指標	賦課誤り件数			-	11	-	-	
	定性目標								
事業概要	<p>開閉栓の認定により上下水道利用者の特定を行う。                  使用水量の検針から使用額を測定し、納入通知書の発行(口座振替依頼)、収納に至るまでの事務処理を正確・効率的に行う。                  料金の未納者を極力減らすよう滞納整理を行う。</p>								
事業内容					名称		活動指標		
26年度事業内容	1 説明に納得を得られない方への対応 (1) 協議難航中の方へは粘り強く交渉を行う。 (2) 住所が不明な方へは、所在確認を引き続き行う。 2 分割納付中で、納入が滞っている方への対応 (1) 納入状況を確認し、納入のお願いを実施する。 3 再発防止策を徹底する。(22年度防止策を実行) (1) 書類審査を厳格に行う。 (2) 月例の定例会を開催し、関係課の緊密な連携を確保する。 (3) 無届け、申請漏れの下水道接続を防止するため、検針員の確認と速やかな連絡を継続的に保つ。 (4) 指定工事店への協力要請、不正工事への厳格な処分を行う。				1 調査及び交渉 2 納入の依頼 3 再発防止策の実行		1 通年 2 通年 3 通年		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		0	0	0	0				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源									
人件費計(千円)②		10,728		10,728					
正規職員所要時間		3,000		3,000					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		10,728	0	10,728	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	個別の収納の状況の確認を行なった。引き続き適正な債権管理に取り組んでいく。								
改革改善の考え方	①問題点	多様な未納者の存在							
	②改革提案	経済状況等に応じて、個別に具体的な対応を行う。							